

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成23年 7月27日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒621-0125 京都府亀岡市西別院町笑路落合4番の3		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社京都製錬所 代表取締役 大林 義博
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004 (JIS Q 14001:2004)	
適用範囲	株式会社京都製錬所	
導入年月日	2007年 5月 28日	
認証番号	EC07J0031	
基本方針	【環境方針】①環境マネジメントシステムを構築運用・継続的改善に努めます。②環境側面に関連する法規制、条例並びにその他の要求事項を順守します。③活動に伴う環境影響を常に認識し、環境汚染の予防に努めます。④目的・目標の設定を行い、定期的に見直します。1)鉛再生利用率の増加に努め、再生資源物の市場供給を高めます。2)電力・燃料の削減に努めます。⑤方針は文書化して、働く全ての人に周知徹底をはかり、一般に公表し	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	重機燃料削減：2010年度比→1.5%削減 (目標年度：2013年度) 電気使用量：2010年度比→5%削減 (目標年度：2013年度) 車両燃費向上：2010年度比→2%向上 (目標年度：2013年度) リサイクル率向上：2010年度比→5%向上 (目標年度：2013年度)	
目標を達成するための取組の内容	重機燃料削減：場内許容走行速度の厳守 (走行10km未満)、急ブレーキ・急発進の禁止、アイドリングストップ、月度・軽油給油明細表の集計表記入 電気使用量：不要電灯の消灯、過負荷稼働の禁止、不要設備の稼働禁止 車両燃費向上：定足走行の推進、急ブレーキの減少、急加速・急発進の禁止、エンジンブレーキを活用した穏やかな運転の励行、空吹かしの禁止、アイドリングストップ リサイクル率向上：原料の乾燥、解体機内部を毎週作業開始前に清掃、プラスチックの解体形状を均一、集塵装置の状態確認、保持炉の管理	
目標を達成するための取組の進捗状況	2011年度より、経済状況をアップさせるため、昨年度の基準値より大幅に生産体制変わったのでサイト責任者より、増産のためサイト全体の作業効率をアップする命令があり、通常よりも大量の荷入れ・荷降ろし・解体作業があり、基準値を超える作業が続いている。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	3ヶ月に1度、目標の達成状況及び評価をしている。未達成の場合は是正処置を行い、未達成の原因究明をし、改善している。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について3ヶ月に1回確認を行っている。これまでに違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、認証機関において1年に1回、年度末にサーベイランス審査を行っている。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。